



す ぐ り ひ で あ き
村 主 英 明

しみん
市民クラブ

停電時の業務継続のため非常用電源の整備を

問 地震、台風等の災害時に長期停電が発生しても、市民の命と財産を守り、地域を守る役割を果たすため、市の施設・設備の機能・役割を維持し、業務を継続する上で、非常用電源設備が極めて重要である。

本庁舎ほか、各施設における整備状況はどうか。その重要性や幅広い役割を認識し、全市的な視点で非常用電源設備の配備に取り組むべきではないか。

非常用電源設備の充実に向け全庁で取り組む

答 本庁舎など事務庁舎では、官庁施設の総合耐震計画基準を参考に、継続的な活動が可能となるよう、72時間程度の電源を確保するものとしている。

合併後の新築庁舎では、当該基準に沿った自家発電設備を設置したが、本庁舎は大規模改修で自家発電設備の更新、オイルタンクの増量を行う予定である。

その他、各施設についても、効率的、効果的な施設整備・更新、災害応援協定の締結等を進めていく。また、非常時優先業務や災害対応業務に必要な電源の確保は非常に重要なことから、防災拠点となる施設における非常用電源設備の充実に向け、全庁的に取り組む。

●その他の質疑・質問●

○家具等の転倒防止について、市民への啓発普及を図るとともに、市の諸施設においても部局間で連携協力して取り組むべき、その経験を通じて得たノウハウを市民や企業に伝えていくべき
○自助・共助による自発的な防災活動を促進し、ボトムアップ型で地域の防災力を高めるため、「地区防災計画」の策定促進に取り組むべき など



▲施設に応じた十分な非常用電源設備を



あ お や ま の り た け
青 山 昇 武

こうめいとうぎいんだん
公明党議員団

高齢者の安全運転支援策が必要では

問 近年、高齢者のアクセルとブレーキの踏み間違いにより事故に巻き込まれてしまうケースが多発している。事故対策として、自動ブレーキやペダルの踏み間違い時の急加速を防ぐ機能などを搭載した「安全運転サポート車」や後付けの「ペダル踏み間違い時加速抑制装置」が普及してきている。これらの購入に、高齢者を対象とした支援策が必要であると考えがどうか。

国の動向や他市の例を調査研究していく

答 高齢者ドライバーによるアクセルとブレーキの踏み間違いによる事故が度々ニュースで取り上げられており、高齢者を取り巻く社会問題の一つであると認識している。

そのような中で、アクセルとブレーキの踏み間違いを防止する安全運転支援装置の開発が進んでいることも承知しているが、あくまでも個人所有の車のことであり、基本的にはご自身で付けていただくものと考え。

安全のために広く支援していくべきというご意見も理解できることから、支援策の在り方については、今後、国の動向や他市の例をしっかりと調査・研究していく。

●その他の質疑・質問●

○財政計画と今後の財政運営は
○中勢グリーンパークへのPark-PFI導入について
○足場転落事故防止対策で外部による安全パトロールの実施を
○津市の受援計画が現場で活用できるようにするべき
○運転免許証を自主返納した高齢者が、買い物や通院に困らないように移動手段の確保を
○境界確認業務の課題は



▲足場転落事故防止対策として安全パトロール実施を